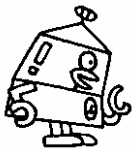


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /  
植物の発芽と成長 / 理解シート

## 有機さいばい野菜って、なんなの



3年以上、<sup>かがくひりょう</sup>農薬や<sup>ゆうきひりょう</sup>化学肥料を使わないで<sup>ゆうきひりょう</sup>有機肥料を使ってきた畑で作った野菜を、有機さいばい野菜というのさ。

### 農薬や化学肥料を使わず、有機肥料で育てた野菜

野菜を育ててみると、すぐ虫がついて葉があなだらけになったり、少し広い畑では、すぐはえてくる雑草をぬくのが大変で、どうしても、<sup>じょそう</sup>農薬や除草ざいなどを使ってしまいます。また、手軽なため、化学肥料もよく使われています。

けれども、農薬や除草ざいがザリガニや野鳥など自然の生物に害をあたえ、とれた野菜にも薬品が残ることもあるなどから、これらを使わない無農薬野菜とか、有機野菜、<sup>げんのうやくやさい</sup>減農薬野菜、低農薬野菜などがお店で売られるようになってきました。

いろいろな名前がついていて買う人にちがいがわかりにくいということで、たとえば、有機さいばい野菜とは、3年以上の間、農薬や化学肥料を使わないで、有機肥料を使ってきた畑でさいばいした野菜だけをいう、ということになりました。

### 有機肥料は、手間がかかるが、おいしくて健康的な野菜がとれる

化学肥料を長い間使っていると、土がかたくなってきて、そこで育つ野菜類も、寒さや病気などに弱くなるといわれます。有機肥料を使うと、いろいろな成分が混じった、空気や水をたくさんふくむ、ふっくらした土になり、味がよく、じょうぶな野菜ができるといわれています。

有機肥料とは、落ち葉やわら、生ごみや、動物のふんなどのはいせつ物、魚粉や<sup>こつぶん</sup>骨粉など、天然にある動物や植物の成分が材料になった肥料です。積み上げた落ち葉やわらにニワトリのふんなどを混ぜて、ときどきかきまぜてやると、<sup>びせいぶつ</sup>微生物のはたらきで発こうが行われ、やがて、有機肥料の代表であるたい肥<sup>ひ</sup>ができあがります。

おかあさんが、生ごみで作っている肥料も、有機肥料なのね。

